

マテマティカ

できる！わかる！使える！
大芝小学校高学年 少人数通信
5月16日(火) No. 02

『少人数指導ってなに！？』

今年度、3年生～6年生では、算数において少人数指導を行っています。今号では、少人数指導について説明します。

少人数指導とは、主に算数において、少人数担当と担任で、習熟度別指導等の少人数指導を行います。指導内容によって、習熟度別指導、均等分割指導、T・T指導での少人数指導を組み合わせ、授業を展開します。

【習熟度別分割での少人数指導】

子どもの実態に応じて、定着度や習熟度、興味・関心によって1つのクラスを2つのコースに分割したり、3つのクラスを4つのコースに分割することで、学力の定着と思考力・表現力の育成を図ります。

習熟度別指導は、「じっくりコース」(問題を丁寧にやさながら、問題解決の方法を考えたり、手順の定着を図ったりするコース)と、「ぐんぐんコース」(問題解決の方法を多様に考えたり、発表の場を多くとったりするコース)などに分かれます。子どもたちにアンケートをとったり、プレテストで今までに習った学習内容の定着の度合いを確かめたりして、子どもたちが自分でコースを選択します。

※コース名は仮です

【均等分割での少人数指導】

1つのクラスを均等に2つに分割して指導します。一斉での授業では、全員が発表して意見交流することに限りがありますが、少人数に分割することにより、自分の考えを発表する機会を増やし、言語活動の充実を図ります。

【チームティーチング(T・T)】

学級内で、2人の教師が連携・協力をして子どもたちの指導をします。主に単元のめあてや学習内容を全体で共有する際に取り入れる予定です。

一方の教師が授業を展開している時は、もう一方の教師が子どもたち個々の考え方やつまずきを把握し、意見交流に反映させたり、個別支援を行ったりします。